

北海道石狩湾産プランクトン調査 III 橈脚類の出現種

小鳥守之・浜岡狂司

昭和51年9月17日の昼間に石狩湾内の1地点(43°30'N 141°05'E, 水深81m)で、動物プランクトンの多層同時水平採集を実施し、深度20mと70mから各1標本を得た。ここでは、主にこれら2標本中の橈脚類の分類学的観察結果を述べ、*Calanus* 属ほか4属の橈脚類の同名異種または異名同種の問題に触れた。すなわち、本観察においては未確認の3種を含む15科16属21種の橈脚類を同定した。このうち17種については、すでに44°N以南の140°30'Eから141°30'Eに至る石狩湾とその近接海域に出現することが知られている。*Eucalanus attenuatus* (DANA), *Centropages violaceus* (CLAUS), *Acartia longiremis* (LILLJEBORG) および *Oncaea mediterranea* CLAUS の4種については本調査海域における最初の出現記録と思われる。

A95 北水試報 21 1-16 1979

北海道北部沿岸水域に分布するイカナゴ属 (Genus *Ammodytes*) の分類学的一考察

北口孝郎

北海道北部沿岸水域に分布するイカナゴ属 (*Ammodytes*) の種の同定を試みた。その結果、*A. personatus* は北海道北部沿岸各地および宗谷海峡付近の水域に、*A. hexapterus* は宗谷海峡付近特に宗谷岬東方水域に出現するという知見を得た。この2種の個体群は、おのおの脊椎骨数および臀鰭条数のモードによって特徴づけられる。*A. personatus* 群の脊椎骨数と臀鰭条数のモードは、それぞれ65または66個・31条である。*A. hexapterus* 群では、それぞれ68個、29または30条である。

A96 北水試報 21 17-30 1979